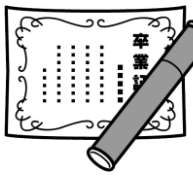
第3学年



学年だより

2021年度
貝塚市立第四中学校
卒業記念号

卒業おめでとうございます！

いよいよ旅立ちの時ですね。3年間毎月１回発行してきた「学年だより」も最終号となりました。１年の時は、パワー全開！まるで戦場のようで、授業中も落ち着かず、毎日のようにトラブルが起こって騒然としていました。いじめやけんかもよくありましたし、同じ失敗を繰り返すことも多かったように思います。いつもだれかがどこかの場所で、先生方と話をしていましたし、家庭訪問にもよく行きましたね。その後、思いもよらなかったコロナ禍での3か月の休校を経て、やっと5月中旬に 2 年生としての初登校。すると学年の雰囲気はがらっと変わり、１年の時が嘘のように落ち着きが見られるようになりました。ただ、コロナ禍は続き、職業体験をはじめとする学年行事や学校行事が中止や変更を余儀なくされるなど、仲間づくりの観点からは、悩ましい状況になりました。しかし、皆さんはそのような中でも、様々な取り組みを通して何とかしようと頑張ってくれました。３年生になってからも例年通りの行事がなかなかできず、特に修学旅行が２回の延期を経て、２年生のときから準備を進めていた北海道には行けず、行先が変更になったことは、衝撃でした。しかし、中止になったり、1泊になったりする学校もある中、10月中旬に何とか2泊3日で、東海地方に行けたことは有難かったです。ラフティングやナガシマスパーランドでの活動、２泊目の豪華なホテルなど、楽しそうに過ごしている皆さんの姿を見ることができて、本当に嬉しく思いました。体育大会や合唱コンクールも、クラスでまとまりいい形で終われましたし、取り組みを通してクラスの絆も深まったと感じました。温かな声掛けも多くなり、癒される日々でした。また、2学期からは、進路を控えて前向きに学習する人が増えてきました。「1、2年の時からやっておけばよかった」という声をたくさん聞きましたが、毎年このように反省する人がいますね。先の見通しを持って行動することは大事ですから、これからはぜひ、ちゃんと考えてやっていきましょう。

この先、心にとめておいて欲しいことは、今までは義務教育という中で守られてきたみなさんが、これからは自分の力で責任をとりながら生きていかなければならないということです。もう甘えは通用しなくなります。その代わり、ある意味自由な部分がたくさんありますし、無限の可能性が広がっています。「できる」「できない」よりも挑戦することを恐れずにやってみてほしいと思います。

【広く世界を見る目】と**【人の話を素直に聴くことのできる耳】**を持って素敵な人生のドラマを創り上げていって下さい。**【自分の生命も他人の生命も大切に】**元気で過ごしてくれることを願っています。最後に、歌手竹内まりやさんの「いのちの歌」の歌詞の一部を紹介します. 卒業にあたり、この歌詞をかみしめてくれるとうれしいです。

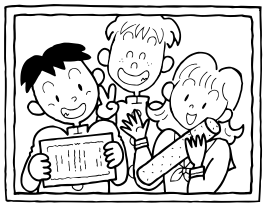
【いのちの歌】

（略）
この星の片隅で
めぐり会えた奇跡は
どんな宝石よりも
たいせつな宝物

（中略）
本当にだいじなものは
隠れて見えない
ささやかすぎる日々の中に
かけがえない喜びがある

（中略）
生まれてきたこと
育ててもらえたこと
出会ったこと　笑ったこと
そのすべてにありがとう
この命にありがとう

公立一般入試を受けた人への連絡です



一般入試を受けた人は、１７日が合格発表です。今年もコロナ禍のため、ホームページでの発表になります。１０時からですので各自必ず確認をし、結果を四中へ連絡してください。（定時制は午後２時です）合格した人は、当日あるいは別日に、保護者の方と高校へ行かなければならないので、よろしくお願いします。当然服装は制服ですし、頭髪なども要注意ですよ。希望どおりにいかなかった人は、私立高校の手続きを急いでください。また、次の進路を考えなければならない人は、必ず保護者の方と四中への来校をお願いします。

（四中☎：433－1340）